

# 豊永盛人・みなこ二人展「HIGH SIGHT OKINAWA」 開催のご案内

*Morioto Toyonaga and MINAKO exhibition "HIGH SIGHT OKINAWA"*



## 【展覧会詳細】

会期 | 2023年7月1日(土)～7月9日(日)

時間 | 12:00～18:00

休廊日 | 7/6 (木曜日定休)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL : 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com



7月1日・2日は、豊永盛人と会場をオンラインでつなぎ、粘土ライブを行います。

## 「high sight Okinawa!!」

沖縄の「玩具ロードワークス」でおなじみ豊永盛人。  
彼の作る作品を初めて見た人は、そのユルさにおもわず  
「なんだこりゃ?」とつぶやいてしまうかもしれません。  
伝統的な張り子の製法をふまえつつも、独特のオモシロさとおおらかさに満ちていて、  
掌のうえから語りかけてきます。  
沖縄の郷土玩具という枠にとどまらず造形活動を続けていて、  
作品は張り子だけではなく、木製のおもちゃや沖縄方言カルタ、  
他ジャンルとの作家とのコラボレーション作品などもあり、  
全てに柔軟な発想から生まれる彼ならではの視点が光っています。

MINAKO も同じく沖縄を中心に活動している造形作家。  
四角いキャンバスにとどまらず油絵具による表現を様々に展開しています。  
2015年に一人で旅立ったというフランスからスペイン・サンティアゴへの巡礼の旅は  
鮮烈で彼女自身におおきな影響を与えました。  
帰国後に制作された旅行記を読むと、数多のトラブルに遭いながらも喜びや美しさを見出しながら  
一步一步踏みしめて歩くその旅路のリアルな描写に、「描き手」としての道の縮図を思わせます。  
「美術館に飾られた、四角いキャンバスでしか油絵にふれられないのはもったいない。  
毛糸や刺繍に油彩を組み合わせた小物やマッチ箱、屋台の看板でもいい。  
衣食住のお供に油彩があってほしいと思います」

本展では、豊永盛人の張り子と minako の沖縄の風景を描いた油彩作品を軸に、  
玩具ロードワークスのさまざまなプロダクトを展開いたします。  
沖縄の空気を感じてほしいというおふたりの展覧会ですが、  
じつは沖縄も日本もとうに飛び出していて  
自由に表現する彼らの視点 (SIGHT) を感じていただければ幸いです。

豊永盛人 (玩具ロードワークス)



「チンチン馬ぐグッ」



「熊面」



「ヤコブと天使」



「白雪姫」



「なかよしクワガタ夫婦」



「ウッチリクブサー」



「ダイオウイカ対マッコウクジラ」



「ケンタウロス大、クワガタウロス」



「モーヤーブトッキ」

MINAKO



“jungle,okinawa”  
キャンバスに油彩  
各0号 / 2023



“トックリキワタ”  
キャンバスに油彩  
4号 / 2023



“金武湾”  
キャンバスに油彩  
各4号 / 2023



## Profile

豊永盛人 Morito TOYONAGA

1976年生れ。沖縄出身、沖縄在住。

沖縄県立芸術大学卒業

2000年より琉球張り子の制作を独学で始める。

2002年 那覇市首里に郷土玩具店「玩具ロードワークス」を開き、

2011年 那覇市牧志に移転し現在に至る。

郷土玩具を中心とした個展・企画展等を行うかたわら、イラストなどの仕事も手がける。

MINAKO (みなこ)

沖縄県在住

9歳の時に油絵に出会い、大阪府立港南高校美術科卒業、

School of the Museum of the Fine Arts (アメリカ/ボストン) でアートを学ぶ。

2015年にフランスからスペイン・サンティアゴまで巡礼の旅に出る。

帰国後に旅行記もまとめ、出版。

その後、個展・グループ展のほか、文章・写真・料理など、そのバイタリティを活かしてイベントなどで活動中。

---

豊永盛人 instagram @toyroadworks  
web <http://toy-roadworks.com>

MINAKO instagram @minakolope  
web <http://minako.me>